

II 過程評価

1.利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供

(1)利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成

第16回 事業所評価

タイトル	項目番号	項目	出来 てい	ほ ぼ 出 来	出 来 てい	全 く 出 来	コメント	改善策	運営推進委員様からのアドバイス
① 利用者等の 一日の生活 リズムに着 目した、介 護・看護両 面からのア セスメントの 実施	11	利用者等一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	4	6	1		京町での生活リズムは分かるがご自宅での様子は把握できていないと思う 一人ひとりの生活リズムに合わせた送迎時間を設定するなど対応が来ている 食事の時間や休まれる時間を意識しているが利用者個人個人の自由な時間にはなっていない 利用者一人ひとりにプランがあり、評価・分析を行っています。	①利用者の一日の生活リズムに合わせつつ、悪循環は助長しないようにしながらご本人さんの意向に沿っていく。	
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせなどが行われている	4	6		未記入1	看護師・介護士両方の視点からの意見交換が来ている 朝のミーティングや夜勤の申し送りなどで来ている 細かく情報を共有し行っていると思う 利用者一人ひとりにプランがあり、評価・分析を行っています。	①ショートカンファレンスで意見交換が来ている。定期的なケアカンファレンスも開催できている。介護士・看護師両方参加できるように調整していく。	
② 利用者の心 身の機能の 維持回復や 在宅生活の 継続に軸足 を置いた「未 来志向型」 の計画の作 成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	2	8	1		立位保持や手引き歩行など自宅での生活に影響が出ないようにケアの統一を図っている リハビリなど必要な方に来ている 自立を促すように利用者の自身の力となるべく行っていたりするようにしている 過剰な介助にならないよう意識している 今後のことは考えているときもあるが、全体的にみるとしっかりと考えていない方もある 在宅での生活が適うように計画をしており、行っている。	①長寿の郷のセラピストに指導いただきながら個別のリハビリも実施できている。(全員ではないが)引き続き継続する。②骨折やインフルエンザなどで体調が悪くなりレベルダウンを一旦された方も一時的な処遇と回復したときの処遇を適宜話し合いながら変更していく。都度朝礼で話し合うことを継続していく。	最近の就労では行きたい所に行けない事が増えている様。働きやすい環境であれば定着はするが、登録者数がないと雇用が出来ないし職員が足りてないと質が落ちる。経営と雇用の問題はあ る。
	14	重度化しても医療依存度を高めすぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための「未来志向型」の計画の作成が志向されている。	2	5	4		個別の疾患に応じたリスク管理が来ている。 さらに生活目標につながるように関わると良いと思う。 心不全の方など重度化防止で体重チェックを行い、リスク管理を行っている。 先を見越した適切なリスク管理は来っていないことが多いと思う 現状の状況に合わせた計画であり、未来志向型とは言いがたい	①水分量の管理を怠るとどのような悪い結果がでるかなど疾患に基づいた良い循環、悪い循環のどちらもイメージできるように取り組みの意味を理解していく。 ②基礎となる取り組みを継続していった上でさらに上位の欲求に応えていく。	